

# KSKS

# ちいしばだより 212

「積み重なる『時』」

かいりじちょう おおさわ せいいち  
ちいしば会理事長 大澤 星一

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認

毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行

2011年3月11日に起きた東日本大震災。あれから5年と半年が経った。大きな揺れと津波、そして地震と津波による福島第一原子力発電所の事故のショックは被災した人たちだけでなく、日本全国を震撼させた。しかし、今あちこちで原発の再稼働が始まっている。さらに、老朽化した危険極まりない原発も、「いやまだ使える」とその運転が延長されたりし、いったいあの時の危機感はいったいどこへいってしまったんだろうと思う。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という諺があるが、まさにこのことだろうと思う。

私たちの多くが、時間ということについて「時は過ぎ去るもの」というような理解をしていると思う。悲しいことや嫌なこと、辛いことがあっても「時が忘れさせてくれる」と時間の経過と共に忘れられるから、というような対応の仕方もこの例になるだろう。

聖書の世界の「時」は過ぎ去っていくものではない。旧約聖書が書かれたヘブル語で「過去」という意味に訳される語は「前」という語が用いられ、「未来」は「後ろ」だ。つまり、いつも後ろを向いて未来に進んでいくという感覚だろうか。後ろ向きといえば聞こえは悪いが、いつも歴史を踏まえ、学びつつ未来へ進むということだ。さらに言えば、そのようにして受け止められる「時」は決して過ぎ去っていくものではなく、積み重なっていくものだ。「いつか来た道」を歩まず、「同じ過ちを繰り返さない」ために、過去を過ぎ去ったこととして忘れてはならない。ユダヤ人が第二次世界大戦中の600万人ものホロコーストを「赦しはするが、忘れない」と言ったのは、この精神性によるだろう。

5年前のあの時の驚きや恐れや不安を過ぎ去った時として片付けてはいけない。

もちろん、楽しかったこと良かったこと嬉しかったことも同様に過ぎ去ったこととしてはいけないのだろうと思う。

いずれにせよ、私たちの未来は歴史と誠実に向き合うことで開かれるのだろう。人間の歴史、世界の歴史、日本の歴史そして個々人の歴史。西大和教会の歴史、愛の園の歴史、ちいしばの歴史もだ。時を積み重ねつつ豊かに歩んで行きたい。そう願っている。

## コンクリートから人へ

じぎょうかんりしゃ さとうしげお  
グループホーム事業管理者 佐藤 滋生

7月の参議院選挙では、安倍首相は憲法改正は封印し経済政策の効果を前面に出しました。一方護憲野党は統一候補と憲法改悪反対で闘いましたが、残念ながら力および自民党の勝利となりました。

多くの国民は生きづらさや将来の展望がみえない中で、憲法が変わって起こる将来の不安より、今の生活が少しでも良くなる可能があるのは安倍首相しかいない、結局他の選択肢がないと考えたのかもしれません。

安倍首相の施策は、金融政策による円安誘導と株価の上昇そして経済対策により景気が良くなり、結果労働者の賃金も上がり国内需要も拡大することを目指すというもので、法人税の減額など企業が潤う施策も取りながら、社会保障の増に対しては消費税の増額で対応し、最後には財政の健全化も行うというものです。

しかし以前から言われている少子高齢化による社会保障費の増加と就労人口の減という日本が直面している大きな問題に対して私は真剣に考え対処しているとは思えません。

金融政策による円安と株高は一時的に実現しましたが潤ったのは大企業だけで、中小企業は関係なく（ほとんどの中小企業は赤字で売上は国内のため円安や減税のメリットがない）、そして金融政策によるインフレで労働者の実質賃金は目減りしていますし、国などの借金も1,100兆円ありその後も増え続けています。

一方決められない政治と言われ国民党を失望させた民主党政権（今の安倍首相の高支持率もそれも原因の一つでは？）ですが、民主党がスローガンにしていた「コンクリートから人へ」は、日本が本当に目指すべきものだと私は今も思っています。

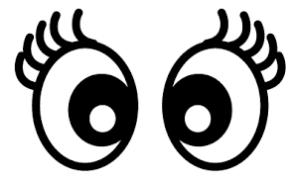
アメリカに目を向けますと、民主党の大統領候補者選挙で、少数の金持ちからでなく多くの庶民から少額の寄付を集めて運動していたサンダース氏が大健闘をしました。特に若者の支持率が高かったとのことでした。

初めてそのニュースを聞いた時、私は自由主義を目指すアメリカ、努力や才能でより多い収入や高い地位につけるチャンスがあると言われているアメリカでも、資本主義の行き過ぎにより恩恵はほんの一握りの人だけで、例えばアメリカの一流大学では授業料だけで年500万～600万円掛かるなど、格差の固定化でほとんどの人が希望を持てない現状が若者を動かし支持を得たのだと思いました。

話はかわりますが、インターネットで湯浅誠法政大学教授の投稿文「『みんなで鍋をつくる、本当にあるんだね』～1ミリでも進める子どもの貧困対策～」と「子どもの貧困当事者の声 あきらめないために必要なもの」が載っていました。「家族で鍋をつくることはテレビの中のフィクションと思っていた」ことなど、色々なあたりまえの経験や知識が欠如している子どもたちが増えていることや、貧困でお金がないため何かをしたいという希望があっても当初からあきらめてしまい、結果努力による成功体験がないことなど、子供たちの厳しい現状が書かれています。

その投稿文の中に子どもの貧困について、格差社会であるアメリカより、日本の方が子どもの貧困度合（貧困格差）が高く、日本より高いのは東欧の一部やメキシコ、ギリシャ・・・だけであり、日本の子どもたちの貧困は広がりだけでなく、一般家庭との格差も深いと書かれています。

日本には資源がなく石油などは輸入しなければならず、お金の全てを国内で循環させようとすると、資源輸入分だけ貿易赤字になってしまいますので、海外からお金を稼ぐことも必要ですが、高齢人口が増加し社会保障費が増え続け、そして生産人口が減り続けるのがはっきりしているなら、国の収入が足らず借金が増え続けているなら、安倍首相が行っている全方位で財源不足のため自己責任を強める施策でなく、より多くの労働者が社会保険料を納められる、そして子どもたちを含め贅沢な生活でなくても安心して暮らせる人を増やす施策、その結果内需が増え、より多くのお金が国内で循環する施策を優先して行うべきだと思います。



み 見つけた!! 合理的配慮!!

えん えんどう ももか  
ちいしば園 遠藤 桃香

4月から、ちいしば園で働くさせていただいている遠藤桃香です。さて今回は、リオパラリンピ

ックのテレビ放送での合理的配慮について探してみました。すると、NHKで初めて、「ユニバーサ

ル放送」を行うことが分かり、「ユニバーサル放送」について調べてみました。

年齢や男女の差、障害などの有無に関わらず、皆が使いやすいものやサービスを「ユニバーサル

デザイン」といいますが、「ユニバーサル放送」とは、障害のあるなしに関わらずみんなが楽しめる、

わかりやすい放送のことを言います。具体的には、聴覚に障害のある方に向けて、スタジオでは

手話でルールや見どころを伝え、競技の中継録画映像には試合の動きにぴったり合った字幕をつけ

ます。また、視覚に障害のある方に向けては、音声だけで試合の全体状況がわかるような解説放送

を行うことです。

ここで一つ残念だった事が、リオオリンピック放送では、「ユニバーサル放送」がされていなかっ

た事です。パラリンピックが障害のある方が出場する大会だから、「ユニバーサル放送」を

はじめようという考え方ではなく、オリンピックも障害のある方でも放送を楽しめるようにしようと

いう考えがあれば良かったなと感じました。

以上が、私がリオパラリンピックのテレビ放送で見つけた合理的配慮です。



**ブルーベリー狩り報告**

今年も、ちいしば園のブルーベリー狩りにたくさんの方が来ていただき、無事終了することができました。ご来園して下さったみなさま、暑い中ほんとうにありがとうございました。連日の猛暑で大変厳しい気候ではあったのですが来ていただいた方には『実が大きくてとても甘い』と好評で持ち帰りされる方がほとんどでした。また、帰りに喫茶のランチを食べて帰られる方も多くこちらも見た目と味で楽しませてもらえたと好評でした。

また、来年も開催を予定していますのでよろしくお願ひします。

**ブルーベリーオーナー制の報告**

今年度から新しい取り組みとして始めたブルーベリーオーナー制(今年度はモニター募集)が8月末で無事初年度が終わったので報告させていただきます。今年は一般の方5組とちいしば園関係者3組の計8組の方がオーナーになられました(たくさんのご応募ありがとうございました)。

5月にオーナーさんが木を選び7月初め頃から8月中旬まで収穫を楽しんでいただきました。厳しい暑さの中、収穫は大変だったと思うのですが『美味しい実がたくさん獲れた』と言う声をいただく事ができました。いろいろ至らない点があったとは思うのですが

今年度オーナーになっていただいた方、本当にありがとうございました。皆さんからいただいたご意見を参考に内容等含め次年度に向け取り組んでいきたいと思います。



オーナーの皆さんと  
ちいしば園メンバー

ちいしば園 辰己浩規

軽作業2階部門では月に2~3回レクリエーションを行っており、散歩に行ったりヨガをしたり、カルタや玩具を使ってのゲーム等をしています。今年の夏はちいしば園で採れたブルーベリーを使ってアイスを作って皆で食べたりしました。美味しそうに食べていて息抜きができた様子です。毎日作業ばかりになってしまふと、メンバーさんの楽しみが持てず、やる気が出なかったりしますが、余暇活動を取り入れることで気分転換や楽しみを持つことができ、メリハリのある活動ができると思います。

今後も色々な事を取り入れてメンバーさんの興味のある物を見つけていきたいです。



# かいしょくいん ちいしば会職員リレー エッセー



しごと うえ ほうほう  
仕事をする上でのリフレッシュ方法

ながた はつえ  
長田 初恵

さいきん 最近 「あ～、スッキリ！」と思つてやり出した事は、「断捨離」です。

なんねん き ようふく つか しょっき ょ お ほん  
何年も着ない洋服や、使わない食器、読み終わった本など。

あらゆる物があちらこちらにあり、以前から、片づけたいと思っていてやり始めました。

しかし、最初のころは「もういらない物なんだから捨てたらいいだけ」と思っていたら、

それがなかなか進みません！

「まだ使える？」「もったいない」という罪悪感が邪魔をしてはかどりませんでしたが、

くつ下一足、Tシャツ1枚、と少しずつこつこつとやり始めてしまいました。

途中 「なんでこんなん買ったんやろ！」「ムダな買い物してるなあ」と反省しつつ、

この前はゴミ袋5~6袋処分しました。

その時、罪悪感は残りますが、なんだか気持ちが軽く、すごくスッキリしました。（空間が出来て、  
ゆとりが生まれたような・・・）

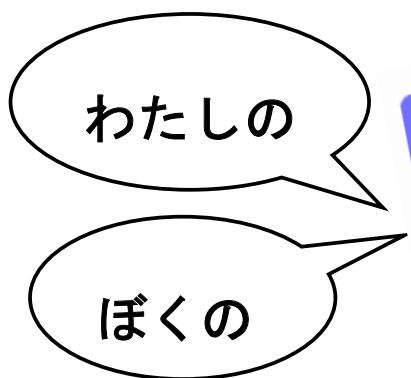
気持ちが軽くスッキリすると、今まで面倒だったことも「やってみよう」と思えたり、色々なアイデアが浮かんだりしてプラス思考になり、それは家事や仕事にもよい影響を与えると思います。

まだまだ断捨離しないといけないわが家ですが、これからはモノを増やさず、毎日快適に気持ちをスッキリ、ゆとりを持って生活できるよう、心掛けたいと思います。

つぎ 次は、ちいしば園の岡本さんにバトンを渡したいと思います。

よろしくお願ひします。

じかい 次回からのテーマは、「この職種を選んだ理由」です。



いち  
しや  
しん  
かん  
**写真館**

す  
き  
きょうみ  
～好きなもの、気になるもの、興味のあるもの～



「ラジカセとCD」

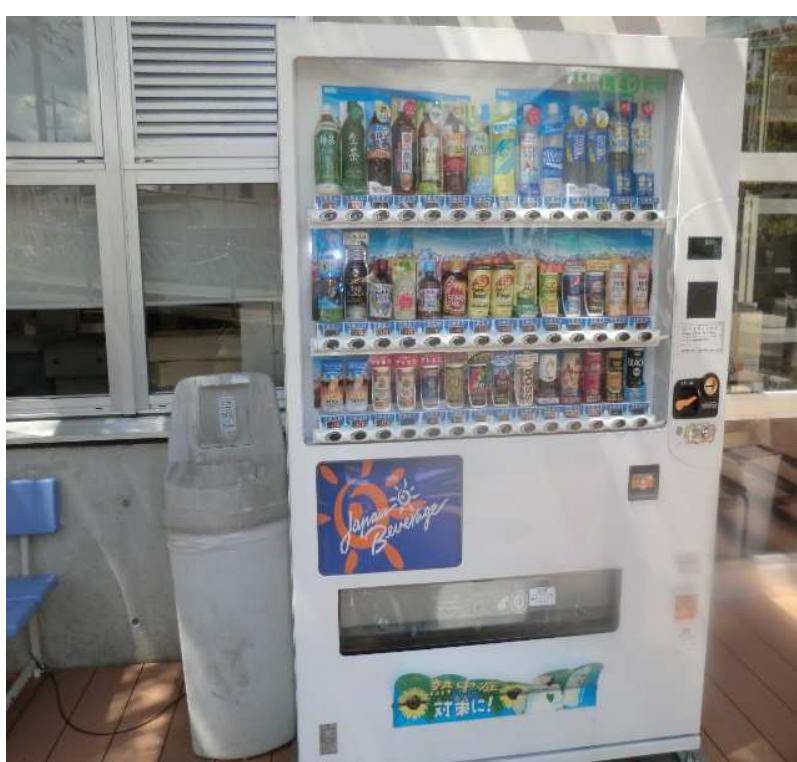
そうさくぶもん まつもとけいこ  
創作部門 松本敬子さん

そうさくしつ いろいろ なが おんがく たの  
創作室では、色々なCDを流して音楽を楽しん  
でいます。  
さいきん き い どうよう しゅう  
最近のお気に入りは、童謡とジブリのテーマ集  
です。

「クッキー作りの道具」

せいぱんせいしかぶもん にしだくみこさん  
製パン製菓部門 西田久美子さん

さんごうちょう あんどちょう けいろうかい つか  
三郷町と安堵町より敬老会で使われるクッキー  
をたくさん注文いただき、毎日クッキー作りを  
頑張っています。今日、一番頑張る事をカメラで  
撮りました！



「自動販売機」

けいさぎょう かいぶもん まつむらとしやす  
軽作業2階部門 松村敏康さん

きゅうけい とき の ひといき  
いつも休憩の時にジュースを飲んで一息つく  
ことが好きなので自動販売機の写真を撮りました。  
もりかわ いっしょ か の まいにち たの  
森川さんと一緒に買って飲むのが毎日の樂  
しみになっています。いつも何を買おうか選ぶの  
たの なに か えら  
しごと がんば おも  
も楽しみでまた仕事を頑張ろうと思います。

あか は ねきょうどうぼきんじょせいきんしやりょう かつどうほうこく  
『赤い羽根共同募金助成金車両 活動報告』

この度、「平成27年度赤い羽根共同募金助成金」を頂くことができ、新しい車両を購入させていただきました。利用者の方々と一緒に、住宅地や幼稚園、役場、スーパー等の販売に使わせて頂いています。

利用者の方々は販売が大好きで担当の順番がまわってくるのを心待ちにしています。

皆、暑い日も雨の日も頑張っています。

見かけられたらどうぞ立ち寄って下さいませ。



## ちいしばクリスマスコンサート ～2016～

クリスマスコンサートの日程が 12月10日(土) に決まりましたのでお知らせいたします。詳細は おってちいしばだよりやチラシ等で発表いたしますので今年もどうぞご来園ください！！



☆後援会年会費《ちいしばだより年間購読料》(2016年6月1日～2016年7月31日)

小野寺彩子、本圓喜代美、松村上子、保井裕之、木村朋子、新晴美

↑後援会費(2016年6月1日～2016年7月31日)

篠原範子(6.7)、橋本和子

以上 敬称は略させていただきます

社会福祉法人ちいしば会後援会では、今年度より「ちいしば献金」の募集は打ち切り、ちいしばだより 年間購読料 500円(ちいしばだより、送料、配送手数料込)を納入いただける「ちいしばだより年間購読会員」を募集しています。今後も引き続き、ちいしばだよりをご購読いただけるみなさんは、振込用紙をご利用のうえ年間購読料(500円/年)にご協力ください。

### 熊本地震による被災障害者支援のための新拠点整備にかかるご支援のお願い

熊本地震の被災障害者支援における新拠点の整備にかかる内部の什器備品費や外構工事費、今後の活動にかかる諸費用が今のところ捻出できません。つきましては、これまで、被災地障害者センターくまもとへ募金活動などの義援金を頂いておりましたが、今後は、一般社団法人「障害者がともに暮らせる地域創生館」に対して、義援金を賜りたくお願い申し上げる次第です。

法人の口座は下記の通りですので、ご支援をいただける場合には、この口座でお願いします。

#### 記

【銀行名】ゆうちょ銀行

【名義】シャ) ショウガイシャガトモニクラセルチイキソウセイカン

(一般社団法人障害者がともに暮らせる地域創生館)

【記号】17140 【番号】30707681

#### 郵便局以外の金融機関から振り込む場合は

【店名】七一八(読みはナナイチハチ) 【店番】718

【預金種目】普通預金 【口座番号】3070768

一〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

## KSKS ちいしばだより

編集人／ちいしば会後援会

年6回 頒価 50円

連絡先／奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL: 0745-72-1923 FAX: 0745-31-5760

発行人／関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F